

開館記念シアター公演 第1弾

ヴェルテダンス

「CORRECTION」

本日
チケット
販売開始



Photo: Radek Holes

2016年10月8日(土)、9日(日)

床に張りついた靴を履いた7人のダンサーが繰り広げるダンス!?
世界中で数々のアワードを受賞した、東欧チェコのダンスが金沢にやってくる

タイトル	「CORRECTION」	カンパニー名	ヴェルテダンス
日時	2016年10月8日(土) 18:00 / 9日(日) 15:00 (各回10分前開場) ※上演時間約55分。両日共終演後アフタートークあり		
会場	金沢21世紀美術館 シアター-21		
料金	シングル券 3,000円 「HAKANAI」とのセット券 5,000円(セット券販売期間は7/22-10/7) ※3歳以下入場不可		
取扱	金沢21世紀美術館ミュージアムショップ、石川県立音楽堂チケットボックス、 ローソンチケット(Lコード:シングル券55126 / セット券58886)		
主催	金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団]		
助成	平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業、チェコ共和国文化省	協賛	チェコセンター東京
後援	チェコ共和国大使館、北國新聞社、北陸放送、テレビ金沢、エフエム石川		
共同招聘	Dance New Air 2016、愛知県芸術劇場		
お問合せ	金沢21世紀美術館 交流課 TEL 076-220-2811		

取材申込み/問合せ先

金沢21世紀美術館 広報担当:川守(広報室/交流課) 事業担当:黒田(交流課)
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp
※ご取材の際には、事前にご連絡をお願いします。



作品について

国際的な評価も高いチェコのダンスカンパニー、VerTeDance(ヴェルテダンス)が贈る、イジー・ハヴェルカ演出による「CORRECTION(コレクション)」は、7名のダンサーが舞台中央に横一列に並んだまま、最初から最後まで場所を動かないという制約のもとに「踊る」(?)ダンス作品です。

2014年2月に初演されて以来、世界各国の舞台芸術祭で絶賛を浴び、数々のアワードを受賞してきました。初来日となる日本ツアーでは、東京、愛知とともに金沢で公演します。チェコ発の新しいコンテンポラリーダンスをお楽しみください。

演出 / イジー・ハヴェルカ

振付・出演 /

ヴェロニカ・クニトロヴァー、テレザ・オンドロヴァー、
マルチナ・ハイディラ・ラツォヴァー、カロリーナ・ヘイノヴァー、
ロボ・ニジュニーク、ヤロ・オンドルシュ、ペトル・オパフスキー

音楽 /

クラリネット・ファクトリー

(インドジフ・バヴリシュ、ルジェク・ポウラ、

ヴォイチェフ・ニードル、ペトル・ヴァラーシェク)



2

Photo: Vojtech Brtnicky

見どころ

1. シンプルだけど、新しい！初来日のチェコのコンテンポラリーダンス

どんなに必死にもがこうとも一歩も前へ進むことのできない世界。

この作品では、靴が床に張りつけられ、ダンサーの足が固定されます。そんなシンプルな設定から、7人のダンサーの個性あふれる動きによって意表をつくストーリー展開が待っています。

文学や音楽、アニメーション、人形劇の世界で多くの才能を輩出してきたチェコから生まれた新しい世代のダンス。日本初公演です。

2. 体の動きを制約させ、自由を奪われることにより逆に生まれる表現力

びくっと反射したり斜めに傾いたり、グニャグニャになったり。押し出してつんのめって落ちこちる。なんとかアンバランスを修正してバランスを持ち直す…。床に張りついた靴を履いたダンサーの動きは、自由を手に入れようとすればその一方で必ず何か失うものがあるということ、逆に言えば、自由を奪われるとき、人はやすらぎ、安心、親しみ、愛情、そして幸せさえ覚えるのだということを、芝居とダンス、そして少しのユーモアを交えて描き出します。

3. クラリネット・ファクトリーによる生演奏

「CORRECTION」では、クラリネット・ファクトリーによる生演奏(クラリネット四重奏)が、身体表現と有機的に結びつきます。

クラシックやエスニック、ジャズ、そしてミニマルも混ぜた都会的でボーダーレスな美しい楽曲に乗って、ダンサーたちは自分の影と必死の格闘を試みます。

[東京公演]

Dance News Air 2016

日時：10月4日(火)～5日(水) 全2回公演

会場：スパイラルホール

[愛知公演]

愛知県芸術劇場

日時：10月14日(金)～15日(土) 全3回公演

会場：小ホール



3

Photo: Radek Holes



4

Photo: Vojtech Brtnicky

プロフィール

ヴェルテダンス VerTeDance

チェコ共和国を代表するダンスカンパニー、ヴェルテダンスは、ダンサー・振付家のヴェロニカ・クニトロヴァー、テレザ・オンドロヴァーと照明デザイナーのパヴェル・コテリークの3人によって2004年に創設。これまでに約20のプロジェクトを製作。チェコおよび世界のダンスシーンにおける多くの著名なアーティストたちとの共同作業を行ってきた。チェコのダンス部門で最も名誉ある賞、ダンス・ピース・オブ・ザ・イヤーを2005年「Silent Talk」、2012年「What is the Weight of Your Desire」、2014年「CORRECTION」で受賞。「CORRECTION」はチェコシアターDNAアワード2016、BEフェスティバル(バーミンガム)BEオーディエンスアワード2015、エジンバラ・フリンジフェスティバルでは名誉高いヘラルド・エンジェル・アワード 2015 を受賞。各地で賞賛を浴びている。



5

Photo: Radek Holes

イジー・ハヴェルカ Jiří Havelka

ブラハを中心に活動する演出家、作家、俳優。2003年にブラハ舞台芸術アカデミー(DAMU)でヤン・シュミットの指導のもと、オルタナティブおよび人形演劇プログラムの演出部を卒業。

その影響もあって、グループ即興を通して作り出されるオリジナル性の高いユニークなパフォーマンスを特徴としている。その作品は演劇とパフォーマンスの中間に位置しており、フィジカルシアター、あるいはアートシアターと呼ぶこともできる。最初、彼はブラハのスタジオ・イブシロンに所属し、一貫したテーマに基づいたオリジナル作品を書き、劇団の中でも同世代の役者たちとクリエイションを行う。そのうちもっとも評価の高いものに、子供時代へと遡る「1203 aneb není mi smutno」(2002)、演劇についての演劇「Drama v kostce」(2005年、演劇新聞賞にノミネート)、時間についての実験「Kam vítr tam plášt」(2008年、演劇新聞賞のオルタナティブ演劇部門にノミネート。舞台上でウィンドサーフィンをした)などがある。2008年にはアルフレッド・ラドック賞タレント・オブ・ジ・イヤー部門を受賞。国際的なプロジェクトの演出もいくつか手がけており、チェコ・ドイツの共同プロダクション「出口89」(2008)、イギリスのバンド、ザ・タイガー・リリーズのアルチャ劇場でのコンサートショー「Here I am Human!」を演出。また、チェコの演劇シーンに新しい要素(純粋即興、言葉ジャグリング、ギャグ、風刺など)を持ち込む演劇集団Vosto5のコアメンバーのひとりで、最近ではアクロバット武術を使った子供向けのフィジカルショー「Poslední Trik Georgese Meliése」をDRAKシアターで発表し高い評価を得た。同作はチェコ・ドイツ合作の「Dechovka」とともに「ショー・オブ・ジ・イヤー」でトップに選ばれた。



Jiří Havelka

クラリネット・ファクトリー Clarinet Factory

クラシック、エスニックやジャズ、ミニマルをミックスした独創的なクラリネット四重奏。即興や最先端エレクトロニクスも導入し、ユニークなゲストとの制作や観客とのコミュニケーションも欠かせない。「ボーダーレスなミュージック」というのがしっくりくる、そんな音楽を目指しているのがクラリネット・ファクトリーだ。



Clarinet Factory

広報用画像

画像1~6を広報用にご提供いたします。
ご希望の方は下記をお読みの上、下記へお申し込みください。
金沢 21 世紀美術館 広報担当/川守(広報室)
〒920-8509 金沢市広坂 1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
http://www.kanazawa21.jp
E-mail: press@kanazawa21.jp

<使用条件>

※トリミングをご遠慮ください。画像が切れたりキャプション等の文字がかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。
※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報室へお送りください。
※アーカイブのため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVDなどをお送りください。
以上、ご理解とご協力を頂けますようお願い申し上げます。